

人 チーム 制度



先輩、ちょっと相談ですが

株式会社ウエスコ環境設計部 若松恭一さん

今回ご紹介するのは、(株)ウエスコで廃棄物関連の仕事に携わる若松恭一さん。2012年に入社、2016年に結婚され充実した生活を送っておられます。

プロフィール

氏名 : 若松恭一
 所属 : 環境設計部環境設計課
 勤続年数 : 4年
 資格 : 技術士補、防災士、簿記
 居住地 : 岡山市
 家族構成 : 妻

これまでの経歴を簡単に教えてください

入社して5年目になります。大学では経済学を学び、ビジネスコンテストで廃棄物関連の提案が優秀賞に選ばれ、大学院では理転し、工学部で廃棄物を学びました。

恩師の紹介から第二新卒で現職を選び、採用されました。現職に就く前は、海外勤務の会社に勤めていました。

仕事と日常生活は充実していますか

充実しています。結婚して、給料もらって、部署に後輩も入って、特に不自由を感じていません。思っていたよりも残業は少なかったです。

仕事は個人の裁量に任せられる部分もあるので、土日に出勤することはあっても、家に仕事は持ち帰りません。

妻との時間を大事にしています。早めに帰宅し、一緒に散歩したり、買い物に行ったりすることが楽しみです。社内に若手が増え、早く帰る人も増えてきた気がします。

仕事でやりがいを感じることを教えてください

やりがいを感じた仕事に、市の災害廃棄物処理の仕事があります。多量の廃棄物の仮置場の選定や処理方法の検討で苦労しました。周辺環境に配慮し、関係部局と

の調整や理解していただきながら事業を進めていく作業は一筋縄ではいきません。チーム力以上に、個人の力が試されます。私はそれをやり遂げた時、仕事のやりがいを感じました。

職場の悩みはどうやって解決しますか

出張先では、必ずと言ってよいほど、先輩と飲みに行きます。課内で飲むことも少なくありません。

悩みを持たないというより、悩んだらすぐに相談するように心がけています。

「先輩、ちょっと相談ですが」

それでも、先輩は、「まだ、相談が足りない」と言います。同じベクトルに向かって仕事をしたいという意識が双方にあるからだと思います。



こんな風に仕事がしてみたいなあ、とかありますか？

部署ごとの売り上げ至上主義に縛られるのではなく、もっとマルチに、ジェネラルに、いろんなことをこなせる社員が増えればいいなあと思います。与えられた仕事をするだけでなく、いろんな仕事をして、それぞれが個性的にキャリアアップしていけば、よりいい会社になる気がします。

ちなみに、自分は、技術だけでなく、将来は人事や広報関係にも関わりたいなあと思っています。それを言うと直属の上司は悲しい顔をするのですが。

最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか？

建コンを知らない人たちが多いのが現状です。それに、技術者が前面に出てこない。たとえば、会社HPで、弁護士事務所とか病院だと、働く人の顔がでてくる。建コンは、売り上げや業務実績がメインです。もっと建コンを知ってほしい。そのためにも、私は人事や広報の仕事もしてみたい。これには、先輩も相談に乗ってくれないのですが、

